

郷土しりょうかん

わた り ち ょ う り つ き よ う ど し り ょ う か ん
 巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

～巨理を築いた人々～巨理伊達家を知ろう！(2)

巨理伊達家の歴代領主の特集2回目は、「養子」として巨理へ迎えられた領主についてです。

他の家から巨理伊達家へ来た領主たち

14代まで続く歴代領主たちの中には、他の伊達家から養子として巨理へやって来た人物がいます。

2代宗実(1613-1665)は初代仙台藩主伊達政宗の九男です。初代成実(しげざね)は子供が早くに亡くなっていたため跡継ぎが不在でした。そこで政宗は宗実を養子に出すことを約束し、寛永20年(1643)正式に養子になり、3年後には成実から宗実へ家督が譲られました。承応2年(1653)に山形藩足軽との間に起こったトラブルが原因で、家臣であり親類の柴田常弘・彦兵衛親子が切腹するという悲劇に見舞われましたが、このとき宗実は「責任は自分にある」として親子の切腹に最後まで反対していました。



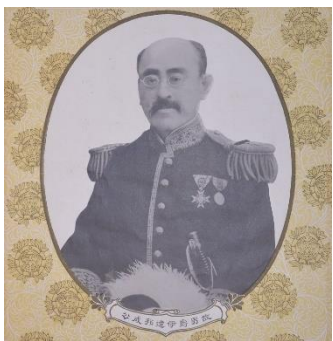
▲ 柴田親子の墓(称名寺)

5代実氏(1654-1717)は岩出山伊達家2代当主・伊達宗敏の二男です。最初は当時の掟に従い中村姓を名乗り別の家の当主でしたが、天和2年(1682)4代基実が20歳の若さで亡くなり、跡継ぎ不在の問題が発生していた巨理伊達家の5代領主として迎えられます。それからの実氏は居館の修築、大雄寺墓所の修造、家臣の俸禄(給料)の整理、末家に窯を築くなど数多くの事業を成し遂げました。その功績を称えて、実氏の死後、大雄寺には霊屋(町指定文化財)が建てられました。



▲ 伊達実氏霊屋(大雄寺)

14代邦成(1841-1904)は岩出山伊達家9代当主・伊達義監の二男です。安政6年(1859)13代邦実の養子になりました。慶応4年(1868)、仙台藩の一員として新政府軍と戦いますが敗れ、巨理要害にて仙台藩は降伏式を行いました。戦後の処置で領地を没収され家臣を養うことが不可能となったため、家老常盤新九郎(のちの田村顕允)の進言を受け入れ北海道へ移住・開拓し、現在の伊達市の基礎を築きました。



▲ 伊達邦成肖像

このように養子として巨理に迎えられた領主たちの実家は、仙台藩本家や同じ伊達一門、すなわち藩内で特に身分の高い家であり、巨理伊達家の格の高さがわかります。

※領主：領地(所有している土地)を治める者 当主：その家の主(あるじ)

次回は歴代領主と仙台藩主とのつながりをご紹介します。お楽しみに！

次号の「郷土しりょうかん」は、10月に発行する予定です。
 郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口にご置きますのでご覧ください。

GW 特別開館を実施しました!



4月29日(土)から5月7日(日)まで「GW特別開館」を実施しました。まず、昨年に引き続き1階エントランスホールにて、1日3回蓄音機・ステレオでのレコード鑑賞会を行いました。8日間で80名の方々に鑑賞いただき、懐かしそうにレコードの音色に耳を傾けられていた方々が多かったのが印象に残りました。

また、4月29日と5月5日には、巨理甲冑愛好会様のご協力のもと、紙甲冑の試着体験・写真撮影を行い、48名の方々に参加いただきました。



▲ 蓄音機の仕組み説明の様子



紙甲冑を着用できる貴重な体験とあって、「侍」へと変身した参加者の方々は非常に楽しそうで、写真撮影では元気よく思い思いのポーズをとっていらっしゃいました。

このほか、常設展示室の内容に関するチャレンジクイズや、ぬり絵コーナーを設置しました。クイズは103名、ぬり絵は18名の方々にご参加いただくなど、GW期間をとおしてたくさんの方々に楽しんでいただきました。



◀ 紙甲冑を着て写真撮影をする様子

『巨理町史 自然編』刊行記念事業を行います

今年度、郷土巨理の自然をまとめた『巨理町史 自然編』が刊行されます。自然編部会の活動は平成20年(2008)4月から始まり、同23年に発生した東日本大震災の影響による一時中断を経て、このたび刊行となりました。今後、郷土資料館では「自然編」の刊行を記念した事業を行っていきます。

① 刊行記念写真展「わたり らんまん 一巨理町の自然一」

「自然編」の調査で撮影された巨理町の豊かな自然環境、動植物の写真パネルや昭和初期にスケッチされた昆虫画を展示します。期間中には一部の写真を入れ替え2部制で行います。巨理の様々な自然について知っていただきたいので、ぜひ2部とも写真展に足をお運びください。

- 開催期間 第1部： 8月5日(土)～ 9月27日(水)
- 第2部： 10月1日(日)～11月26日(日)



② 刊行記念自然観察会

巨理町の海浜も含まれる仙台湾海浜は、宮城県の自然環境保全地域に指定されています。砂浜やクロマツ・ハンノキの林を散策しながら、動植物に触れ豊かな自然環境を学びましょう。申込み方法など詳しくは今後の町広報やHPなどをご覧ください。

- 開催日時 1回目：子ども自然観察会「海岸林を探検しよう」8月20日(日) 9:30～12:00
- 2回目：一般自然観察会「巨理の自然を知ろう」9月10日(日) 9:30～12:00

③ 刊行記念講座「ものしり大学院」

毎年開催する「ものしり大学院」も「自然編」と関連し、巨理の自然をテーマとした講演会を行う予定です。こちらについても、詳しくは今後の町広報やHPなどでお知らせします。

- 開催日時 11月3日(金・文化の日) 13:30～15:30





宮城県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳



*日 時 8月16日(水)8:30~16:30

*場 所 巨理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内 巨理町字泉ヶ入87-2)

*解説会 ①11:00~11:40、②14:00~14:40(申込不要)

初代巨理領主・伊達成実^{いずみ がつやく}は伊達政宗^{かたうで}の片腕として活躍し、領主としても巨理発展の基礎^{きそ}を築くなど大きな功績^{こうせき}を挙げました。正保3年(1646)に成実が79歳で亡くなってから間もなく、その偉業^{いぎよう}を称えて霊屋^{れいご}が築かれ、中には甲冑姿^{かぶと}の成実木像^{おさ}が納められています。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として木像とともに宮城県の指定文化財になっています。



現在の霊屋は永く現状をとどめるため柵^{さく}に囲まれています。上記日時に霊屋を開帳し、成実木像を一般公開します。年に2回だけの貴重な機会ですので、ぜひ足をお運びく

ださい。また、当日は伊達武将隊・伊達成実さんと郷土資料館学芸員による解説会も行います。解説会では、成実の生涯^{しょうがい}や巨理の歴史について紹介する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。



▲ 昨年の解説会の様子

霊屋と郷土資料館常設展示の2カ所を見学して、スタンプを集めた方には**記念品をプレゼント**します！
※当日のみ有効

「夏休みちょこっと体験」が始まります！

●開催期間 7月22日(土)~8月20日(日)

郷土資料館常設展示室では、夏休み期間中に体験コーナーを設置します。

郷土資料館オリジナルキャラクター「しげざねくん」や「巨理伊達家の家紋^{かもん}」の切り絵^{ちりえ}に挑戦するコーナー、伊達成実の木像を見ながら「わたりん」のぬり絵に挑戦するコーナーのほか、チャレンジクイズ(全問正解者には記念品プレゼント)があります。

普段はなかなか体験できない、“ちょこっと”楽しい内容になっていますので、この機会にぜひご体験ください。



▲ 以前の「夏休みちょこっと体験」
(上)切り絵体験の様子
(下)チャレンジクイズ挑戦の様子



この夏休みは、ちょこっと体験で特別な思い出をつくらう！



郷土資料館カレンダー・利用状況

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8 上映会
9 上映会	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22 ちよこっと 開始
23 30	24 31	25	26	27	28 資料 整理日	29

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 写真展 1部開始
6	7	8	9	10	11 山の日	12 上映会
13 上映会	14	15	16 霊屋 御開帳	17	18	19
20 自然観察会 ちよこっと終了	21	22	23	24	25 資料 整理日	26 繭細工 体験
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9 上映会
10 自然観察会 上映会	11	12	13	14	15	16
17	18 敬老の 日	19	20	21	22	23 秋分の 日
24	25	26	27 写真展 1部終了	28	29 資料 整理日	30

◆ は休館日

※上映会は「わたり復興の歩み」を終日上映

時間 9:00~16:30

場所 悠里館1階エントランスホール

常設展

R5.4.1~6.29

●開館日数…75日間

●観覧者数…2,678人(1日平均36人)

第25回収蔵資料展

R5.4.1~5.14

●開館日数…37日間

●観覧者数…1,633人(1日平均45人)

おわりに

昨年の夏は12年ぶりに荒浜海水浴場の利用が再開されたことが特に印象的でしたが、今年は4年ぶりに「わたりふるさと夏まつり」のパレード再開という非常に嬉しいニュースが入ってきました。行事に関する「〇年ぶり再開」の知らせを聞くと、コロナ禍で様々な制限があったことを強く感じると同時に、忘れかけていた季節の変わり目を改めて感じさせられます。

さて、このたび『巨理町史 自然編』の刊行を記念して、郷土資料館では写真展や講座・講演会などを実施します。この際に郷土巨理の自然の魅力について知っていただければと思います。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで) *観覧料…**無料** ※特別展等有料の場合あり